

京都大学薬学部 SGD 演習レポート

第1回 オリエンテーション

授業実施日：2018年4月11日（水）4限・5限

担当教員：山下富義教授・津田真弘講師

対象学生：薬学部1回生83名

場所：医薬系総合研究棟2階 講義室A・C

授業の目標

学生同士の学習コミュニティを形成することは、SGD 演習に期待される重要な役割のひとつです。そこで第1回は、オリエンテーションとして、ワールドカフェを通じて、学生間での親睦が深まるように授業が展開されました。

授業の場面

① SGD、ワールドカフェ（以下WC）の説明

Small Group Discussion (SGD) とは何かに関して説明がありました。

SGD：少人数のグループで討論して、課題に対する成果物（products）を生み出す方法。

具体的な方法は、ブレインストーミング、KJ法、SWOT法、概念地図法など。



② WC 第1ラウンド「高校生の時に一番印象に残ったことは？」

5～6人のグループで自己紹介をした後で、高校生の時に一番印象に残ったことについて、絵を描くように指示がありました。その後グループ内で、自分の描いた絵の説明を行い、それをもとに、グループ内で自由に会話が行われました。

③ WC 第2ラウンド「どうして薬学部を志望しましたか？」

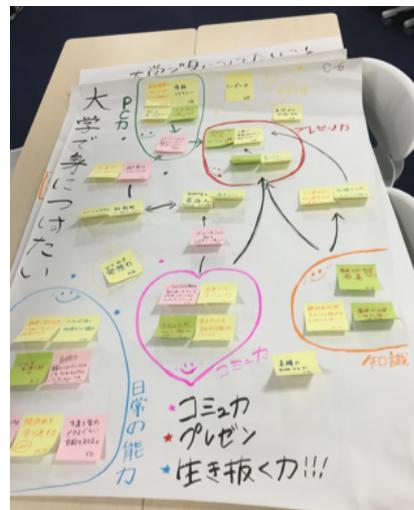
各学生は、なぜ自分が薬学部を志望したのかを自由に話すように指示されました。

④ WC 第3ラウンド「大学でどんな能力を身につけたいですか？」

以下の手順で、大学でどんな能力を身につけたいか議論するように求められました。

1. 大学でどんな能力を身につけたいかをポストイットに書く
2. それをグループでKJ法を使って模造紙上に貼る
3. まとまったら能力として名前をつける
4. 能力同士の関係を図式化する

最後に、持ち時間3分で発表会が行われました。



⑤ フォローアップ

山下教授、津田講師より、現在社会から要請されている能力に関して説明が行われました。具体的には、「社会人基礎力」を構成する力として、前に踏み出す力、考え抜く力、チームで働く力の三つが紹介されました。

⑥ ピア評価

ピア評価として、グループワークでの他の学生の活躍を点数で評価し、コメントを書きました。

次回に向けて

授業後の教員間での話し合いでは、今回の授業の反省が行われました。その中で、以下の課題が浮上しました。

- グループワークにおいて、数名、あまり発言できなかった学生がいた
- ピア評価の意義が学生に十分に伝わっていなかった

- ピア評価結果をどのようにフィードバックしていくべきか？

また、授業に関して各教員が気づいたこと、不安に思うことなどを共有できるように、PandA に掲示板を設置することも検討されました。今後この掲示板が、教員同士での学び合いにどのように影響していくのか、追っていきたいと思います。

記事作成者：

高等教育研究開発推進センター研究員 長沼祥太郎